

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称:	ダリングエージェント (DULLING AGENT) _20250717
供給者の会社名:	株式会社キャンディルデザイン
住所:	神奈川県川崎市宮前区有馬 8-3-11
電話番号:	044-863-9112
推奨用途:	皮革製品の工業用および専門的なケアとメンテナンス
使用上の制限:	推奨用途を遵守すること

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
-----------------	-------

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）、分類できないのいずれかに該当する。

### GHS ラベル要素

絵表示 なし

注意喚起語 警告

#### 危険有害性情報

H320 眼刺激

### 注意書き

安全対策 取扱後は...をよく洗うこと。(P264)

応急措置 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305 + P351 + P338)  
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。(P337 + P313)

保管 データなし

廃棄 データなし

GHS 分類に関係しない  
または GHS で扱われない  
他の危険有害性

要請に応じて安全データシートを入手できる。  
EUH208：クロロクレゾールを含む。アレルギー反応を引き起こす可能性がある。  
EUH208：1,2-ベンゾイソチアゾール-3(2H)-オンを含む。アレルギー反応を引き起こす可能性がある。

EUH208: イソチアゾリノン類の反応物質を含む。  
アレルギー反応を引き起こす可能性がある。  
EUH208: 2-メチルイソチアゾール-3(2H)-オンを含む。  
アレルギー反応を引き起こす可能性がある。  
殺生物剤を含む製品。有効成分: C(M)IT/MIT  
(3:1)、BIT、MIT。

### 3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名または一般名

化学名または一般名	濃度または濃度範囲	(化審法)	(安衛法)	CAS RN®
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル	5 ≤ ~ < 10%	2-426、7-97	既存	34590-94-8
4-クロロ-3-メチルフェノール	0.1 ≤ ~ < 0.25%	3-900	既存	59-50-7
1, 2-ベンゾチアゾリン-3-オン	0.01 ≤ ~ < 0.036%	9-1845	既存	2634-33-5
2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	0.0014%	白物質 5-5235、既存 9-378	既存	55965-84-9
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	0.0004%	5-5235	既存	2682-20-4

### 4. 応急措置

吸入した場合:	被災者を新鮮な空気の場所に移動させ、暖かくして安静にすること 呼吸に問題がある場合は、医師の診察や手当が必要である
皮膚に付着した場合:	汚染箇所を大量の水と石鹼で洗い流すこと
眼に入った場合:	眼に入った場合は、直ちに大量の水で洗い流し、医師の診察や手当を受けること
飲み込んだ場合:	いかなる場合も嘔吐を誘発しないこと 直ちに医師の診察を受けること
医師に対する特別な注意事項:	データなし

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤:	CO2、泡、粉末消火剤、噴霧水
使ってはならない消火剤:	棒状注水は火災を拡大させる恐れがあるため使用しないこと 水は火炎にさらされた容器を冷却し、爆発を防ぐために使

用できる

特有の危険有害性:	燃焼ガスを吸入しないこと 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物が発生する
特有の消火方法:	汚染された消火用水は別途回収すること 下水や排水に排出しないこと 安全に行える場合は、損傷していない容器を危険区域から移動させること
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置:	自給式開放回路陽圧空気呼吸器 (BS EN 137) と組み合わせた消防用保護服 (BS EN 469)、手袋 (BS EN 659)、ブーツ (HO仕様 A29 および A30) を着用すること

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置:	個人用保護具を着用すること 人員を安全な場所に避難させること 第7項および第8項の保護措置を参照すること
環境に対する注意事項:	土壌・地下への浸透を防ぐこと 地表水や下水への流入を防ぐこと ガスの漏洩または排水、土壌、下水への流入が発生した場合は、関係当局に通報すること 回収に適した材料: 不活性吸収材
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	漏洩または流出を止め、不活性吸収材を使用して汚染箇所を囲むこと 現行の法令および規範に従って回収・廃棄すること 排水路に流さないこと
二次災害の防止策:	データなし

## 7. 取扱い及び保管上の注意:

取扱い:	
技術的対策:	データなし
安全取扱注意事項:	皮膚や目への接触、蒸気やミストの吸入を避けること 互換性のない物質との同時取り扱いを避けること (第10項参照) 空の容器は洗浄する前に使用しないこと 推奨される保護具については第8項も参照すること
接触回避:	皮膚や目への接触、蒸気やミストの吸入を避けること
衛生対策:	作業中は飲食しないこと 喫煙しないこと 使用後は手を洗うこと
保管:	
安全な保管条件:	+5/40°Cの温度範囲で、換気の良い場所に保管すること 食品、飲料、飼料から離して保管すること

安全な容器包装材料: データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

化学名または一般名	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
(2-メトキシメチルエトキシ)プロパノール - CAS: 34590-94-8	設定なし	設定なし	TWA(8h): 606 mg/m <sup>3</sup> , 100 ppm - STEL: 909 mg/m <sup>3</sup> , 150 ppm
イソチアゾリノン類の反応生成物 - CAS: 55965-84-9	設定なし	設定なし	設定なし

化学名または一般名	厚生労働大臣が定める濃度の基準 (8時間)	厚生労働大臣が定める濃度の基準 (短時間)
(2-メトキシメチルエトキシ)プロパノール - CAS: 34590-94-8	EU TWA(8h): 308 mg/m <sup>3</sup> , 50 ppm	設定なし
イソチアゾリノン類の反応生成物 - CAS: 55965-84-9	設定なし	設定なし

設備対策: ほとんどの作業においては、一般的な換気で十分である  
換気が不十分な場合は、局所排気システムを使用すること

保護具:

呼吸用保護具: 換気が不十分な場合、長時間の曝露またはミスト・蒸気・エアロゾルへの曝露 (例: スプレー塗布) が生じる場合は、呼吸用保護具 (例: DIN EN 141 に基づく有機ガス・蒸気用 A フィルター付き DIN EN 136 規格準拠の全面マスク) を使用すること

手の保護具: 保護手袋 (EN 374) を使用すること

眼、顔面の保護具: 通常の使用では不要であるが、適切な作業慣行に従って作業を行うこと

皮膚及び身体の保護具: 通常の使用では特別な予防措置は不要である

特別な注意事項: 使用する個人用保護具は、適用規格への適合を示す CE マークが付いたものでなければならない  
適切な作業慣行を遵守すること  
製品との長時間または不必要な接触を避けること  
換気の良い場所で使用すること  
眼や皮膚に付着させないこと  
化学物質を取り扱う際は、合理的なすべての予防措置に従うこと  
正しい個人衛生習慣を実践すること  
作業場での飲食物の摂取・保管を行わないこと  
喫煙または飲食の前に手を洗うこと

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
形状:	データなし
色:	白みがかった
臭い:	微臭
融点/凝固点:	0 °C
沸点又は初留点及び沸点範囲:	100 °C
可燃性:	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	該当なし
引火点:	>100 °C
自然発火点:	該当なし
分解温度:	該当なし
pH:	データなし
動粘性率:	入手不可
溶解性:	混和性
n-オクタノール/水分分配係数(対数値):	データなし
蒸気圧:	データなし
密度及び/または相対密度:	1.01 +/- 0.05 g/cm3
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性:	通常の条件下では安定である
化学的安定性:	通常の条件下では安定である
危険有害反応可能性:	通常の使用条件下では特になし
避けるべき条件:	通常の保管・使用条件下では安定である
混触危険物質:	特になし
危険有害な分解生成物:	通常の保管・使用条件下では、危険有害な分解生成物は知られていない

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口):	区分に該当しない ジプロピレングリコールモノメチルエーテル ( $5 \leq \sim < 10\%$ ): 区分に該当しないため、計算対象外とした 4-クロロ-3-メチルフェノール ( $0.1 \leq \sim < 0.25\%$ ): $0.1 \leq \sim < 0.25\% / 1830 = 0.0001$ (出典: NITE) 1, 2-ベンゾチアゾリン-3-オン ( $0.01 \leq \sim < 0.036\%$ ): $0.01 \leq \sim < 0.036\% / 670 = 0.00005358$ (出典: NITE) 2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン (0.0004%): $0.0004\% / 120 = 0.00000333$ (出典: NITE) 毒性値計算の合計 = $0.0001 + 0.00005358 + 0.00000333 =$
-----------	--

0.0002  
ATEmix = 100 / 0.0002 = 637308.011  
ATEmix の計算値が 637308.011 > 5000 であるため、区分に該当しない

急性毒性（経皮）： 区分に該当しない  
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル（5 ≤ ~ < 10%）： 区分に該当しないため、計算対象外とした  
4-クロロ-3-メチルフェノール（0.1 ≤ ~ < 0.25%）： 区分に該当しないため、計算対象外とした  
1, 2-ベンゾチアゾリン-3-オン（0.01 ≤ ~ < 0.036%）： 区分に該当しないため、計算対象外とした  
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン（0.0004%）：  
0.0004% / 242 = 0.0000165（出典：NITE）  
毒性値計算の合計 = 0.0000165  
ATEmix = 100 / 0.0000165 = 60606060.6061  
ATEmix の計算値が 60606060.6061 > 5000 であるため、区分に該当しない

急性毒性（吸入：気体）： 区分に該当しない（分類対象外）  
GHS 定義による気体ではない

急性毒性（吸入：蒸気）： 分類できない  
毒性未知成分の合計が 10.2875% ≥ 0.1% であるため、分類できないとした

急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）： 分類できない  
1, 2-ベンゾチアゾリン-3-オン（0.01 ≤ ~ < 0.036%）：  
0.01 ≤ ~ < 0.036% / 0.21 = 0.171（出典：NITE）  
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン（0.0004%）：  
0.0004% / 0.11 = 0.0036（出典：NITE）  
毒性値計算の合計 = 0.171 + 0.0036 = 0.1746  
ATEmix = (100 - 10.2512) / 0.1746 = 514.0252  
ATEmix の計算値が 12.5 < 514.0252 であるため、区分に該当しない  
加えて、毒性未知成分の合計が 10.2512% ≥ 0.1% であるため、分類できないとした

皮膚腐食性・刺激性： 分類できない  
成分加算の結果区分に該当しないとなるが、未知成分の合計が 0.1%以上存在するため、分類できない。

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分 2B  
眼区分 1: 4-クロロ-3-メチルフェノール, 含有率 0.1 ≤ ~ < 0.25%（出典: NITE）  
眼区分 1: 1, 2-ベンゾチアゾリン-3-オン, 含有率 0.01 ≤ ~ < 0.036%（出典: NITE）  
眼区分 1: 2-メチル-1, 2-チアゾール-3（2H）-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3（2H）-オンの混合物, 含有率 0.0014%（出典: CLP）  
眼区分 1: 2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン, 含有率 0.0004%（出典: NITE）  
皮膚区分 1: 2-メチル-1, 2-チアゾール-3（2H）-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3（2H）-オンの混合物, 含有率 0.0014%（出典: CLP）  
皮膚区分 1: 2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン, 含有率 0.0004%（出典: NITE）  
眼区分 2B: ジプロピレングリコールモノメチルエーテル, 含有率 5 ≤ ~ < 10%（出典: NITE）  
10×(眼区分 1+皮膚区分 1)+眼区分 2B の合計（眼区分と皮膚区分が重複の場合は1度のみ加算）が 10%以上であるため、区分 2B に該当。

呼吸器感作性：	分類できない 製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。 成分加算の結果区分に該当しないとなるが、未知成分の合計が0.1%以上存在するため、分類できない。
皮膚感作性：	区分に該当しない 製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。
生殖細胞変異原性：	分類できない 成分加算の結果区分に該当しないとなるが、未知成分の合計が0.1%以上存在するため、分類できない。
発がん性：	分類できない 濃度限界判定の結果区分に該当しないとなるが、未知成分の合計が0.1%以上存在するため、分類できない。
生殖毒性：	分類できない 成分加算の結果区分に該当しないとなるが、未知成分の合計が0.1%以上存在するため、分類できない。
生殖毒性・授乳影響：	— 授乳影響に関するデータが存在しない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	区分に該当しない 2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン（呼吸器）は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 1, 2-ベンゾチアゾリン-3-オン（神経系）は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。  以下、各物質ごとの区分情報 区分1: 2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン, 含有率0.0004%, 臓器: 呼吸器 (出典: NITE) 区分2: 1, 2-ベンゾチアゾリン-3-オン, 含有率0.01 ≤ ~ < 0.036%, 臓器: 神経系 (出典: NITE) 区分3: ジプロピレングリコールモノメチルエーテル, 含有率5 ≤ ~ < 10%, 臓器: 麻酔作用 (出典: NITE) 区分3: ジプロピレングリコールモノメチルエーテル, 含有率5 ≤ ~ < 10%, 臓器: 気道刺激性 (出典: NITE) 区分3: 4-クロロ-3-メチルフェノール, 含有率0.1 ≤ ~ < 0.25%, 臓器: 気道刺激性 (出典: NITE)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	区分に該当しない 4-クロロ-3-メチルフェノール（脳）は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 4-クロロ-3-メチルフェノール（腎臓）は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 4-クロロ-3-メチルフェノール（肝臓）は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。  以下、各物質ごとの区分情報

区分2: 4-クロロ-3-メチルフェノール, 含有率 0.1% ≤ ~ < 0.25%, 臓器: 脳 (出典: NITE)  
区分2: 4-クロロ-3-メチルフェノール, 含有率 0.1% ≤ ~ < 0.25%, 臓器: 腎臓 (出典: NITE)  
区分2: 4-クロロ-3-メチルフェノール, 含有率 0.1% ≤ ~ < 0.25%, 臓器: 肝臓 (出典: NITE)  
分類できない: 1, 2-ベンゾチアゾリン-3-オン, 含有率 0.01% ≤ ~ < 0.036% (出典: NITE)  
分類できない: 2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン, 含有率 0.0004% (出典: NITE)

誤えん有害性:

分類できない

データ不足のため、分類できないとした。

その他:

【遅発性・即時性・慢性影響】

結論/要約:

本製品は感作された人にアレルギー反応を引き起こす可能性がある。

【その他の情報】

製品自体の実験データがない場合、健康有害性は適用される分類規制に規定された基準を用いて、含有成分の特性に従い評価される。

追加情報: 特になし。

内分泌かく乱特性: 濃度 ≥ 0.1% の内分泌かく乱物質は含まれていない。

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性短期  
(急性):

区分に該当しない

環境有害性には分類されない。入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。製品が環境中に放出されないよう、適切な作業手順を採用すること。

クロロクレゾール:

-LC50, 0.92 mg/l, 魚類 - *Oncorhynchus mykiss*, 96 時間

-EC50, > 4.4 mg/l, 甲殻類 - *Daphnia magna*, 48 時間

-EC50, > 10 mg/l, 藻類 - *Desmodesmus subspicatus*, 72 時間

1,2-ベンゾイソチアゾール-3(2H)-オン:

-LC50, 8 mg/l, 魚類 - *Oncorhynchus mykiss*, 96 時間, OECD 203

-EC50, 15 mg/l, 甲殻類 - *Daphnia magna*, 48 時間, OECD 202

-EC50, 0.6 mg/l, 藻類 - *Selenastrum Capricornutum*, 72 時間, OECD 201

水生環境有害性長期  
(慢性):

分類できない

環境有害性には分類されない。入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。製品が環境中に放出されないよう、適切な作業手順を採用すること。

生態毒性:

環境有害性には分類されない。入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。製品が環境中に放出されないよう、適切な作業手順を採用すること。

残留性・分解性:

生体蓄積性:

土壌中の移動性:

オゾン層への有害性: 分類できない

その他: 【その他の悪影響】  
結論/要約:  
なし

PBT/vPvB ステータス:  
vPvB 物質: なし - PBT 物質: なし  
内分泌かく乱特性:  
濃度  $\geq 0.1\%$  の内分泌かく乱物質は含まれていない

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 可能であれば回収すること  
認可された廃棄処理施設に送付するか、管理された条件下  
で焼却処分すること  
その際、現行の地域および国の規制を遵守すること

汚染容器及び包装: データなし

### 14. 輸送上の注意

国際規制:

国連番号: この物質は輸送規制対象外である (ADR/RID、IMDG、  
IATA、ICAO)

MARPOL 73/78、附属  
書II、IBC コードに従  
ってばら積み輸送され  
る液体物質: 非該当

国内規制:

陸上規制情報: データなし

海上規制情報: データなし

航空規制情報: データなし

特別の安全対策: データなし

### 15. 適用法令

化学物質排出把握管理  
促進法(PRTR法): 非該当

労働安全衛生法: 名称等を表示すべき危険物及び有害物  
・ 1 - (2-メトキシ-2-メチルエトキシ) - 2-プロ  
パノール 規則別表第2の2189 令和7年4月1日施行

名称等を通知すべき危険物及び有害物  
・ 1 - (2-メトキシ-2-メチルエトキシ) - 2-プロ  
パノール 規則別表第2の2189 令和7年4月1日施行  
・ 4-クロロ-3-メチルフェノール 規則別表第2の  
569 令和7年4月1日施行

化学物質による健康障害防止のための濃度の基準（濃度基準値設定物質）

・ 1 - (2 - メトキシ - 2 - メチルエトキシ) - 2 - プロパノール 2025/10/01

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質・皮膚吸収性有害物質

・ ジプロピレングリコールメチルエーテル 令和 6 年 4 月 1 日

毒物及び劇物取締法：

非該当

水質汚濁防止法：

指定物質

・ 政令第 3 条の 3 第 55 号 フェノール類及びその塩類

生活環境項目

・ 政令第 3 条第 5 号 フェノール類含有量

海洋汚染防止法

有害液体物質 Z 類：ジプロピレングリコールモノメチルエーテル

下水道法：

法第 12 条の 2 排水基準：4-クロロ-3-メチルフェノール

水道法：

法第 4 条 排水基準：4-クロロ-3-メチルフェノール

法第 4 条 水質基準項目：4-クロロ-3-メチルフェノール

## 16. その他の情報

参考文献：

NIOSH - 有害化学物質の毒性効果登録簿 (1983)

I.N.R.S. - Fiche Toxicologique

ECHA 登録物質データベース

(<http://apps.echa.europa.eu/registered/registered-sub.aspx>)

ECHA 分類およびラベリングインベントリ

([http://echa.europa.eu/clp/c \\_\\_\\_inventory\\_en.asp](http://echa.europa.eu/clp/c___inventory_en.asp))

ドイツ Berufsgenossenschaften の GESTIS 有害物質データベース

(<http://www.dguv.de/ifa/Gefahrstoffdatenbanken/GESTIS-Stoffdatenbank/index-2.jsp>)

その他：

本 SDS は、適切な訓練を受けた有能な担当者によって作成されたものである

本情報は正確であると考えられるが、網羅的なものではなく、物質または混合物に関する現時点の知識に基づくガイドとしてのみ使用すること。また、本製品に適切な安全上の注意事項に適用されるものである

本情報はデータシート送付時点における現在の知識に基づくものであり、特定の特性を保証するものではなく、安全上の理由から製品を説明する目的にのみ供するものである  
本製品のさまざまな用途および弊社に依存しない要因により、本情報の使用に関していかなる責任も負わない  
記録を最新の状態に保ち、本 SDS を関係するすべての担当者が利用できるようにすること

本安全データシートは、以前に発行されたその他すべての

版を無効とし、それらに代わるものである